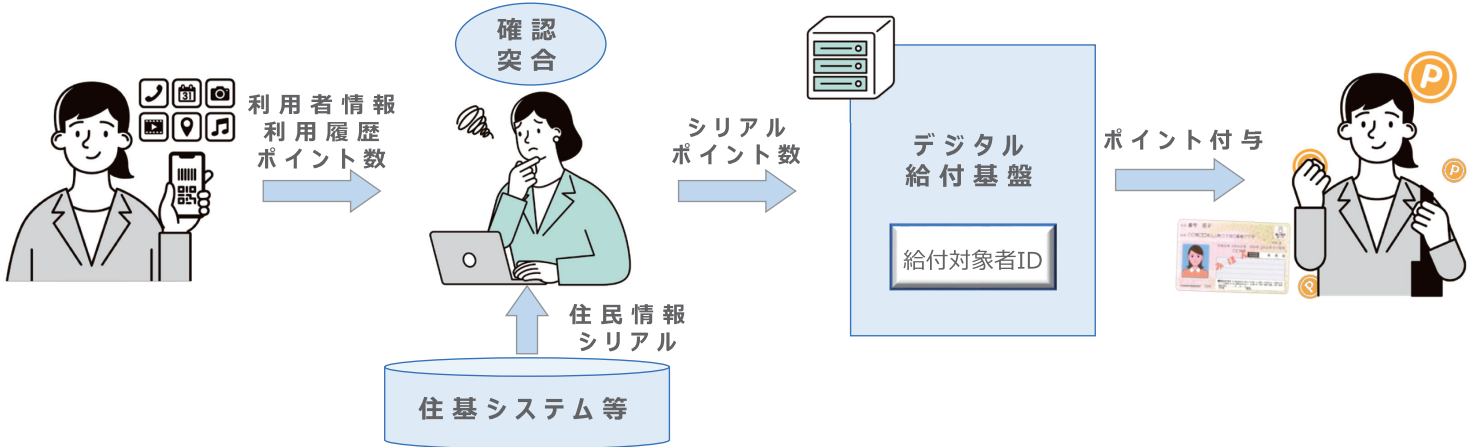


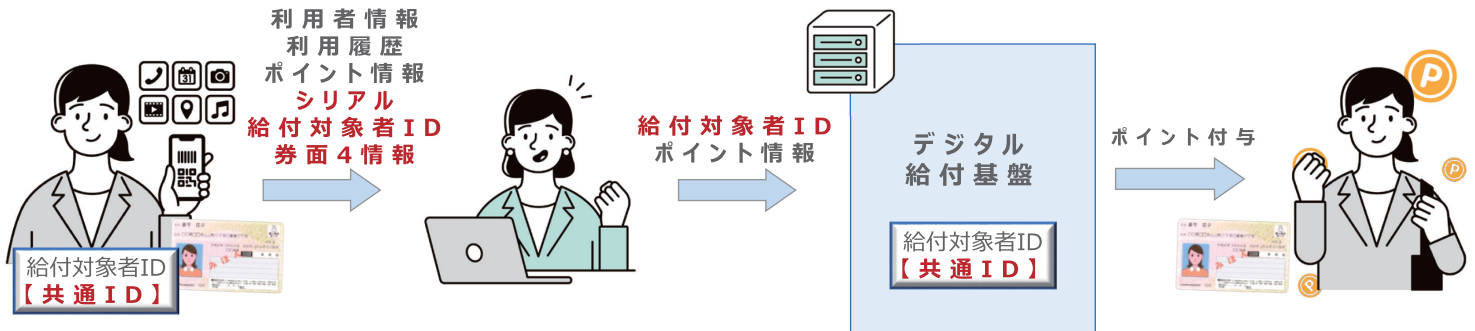
## 共通ID認証を行わない場合

利用者情報の突合が必要で作業量も多いため、人為的なミスが発生する可能性がある。住民以外への給付は困難。



## 共通ID認証を行う場合

利用者情報の突合は不要で、人為的なミスも防げる！住民以外への給付も可能に！



以下のようなサービスに導入することで幅広い施策実現につながります！

利用アプリ（例）	具体的利用イメージ
旅行アプリ	自治体内外の方が、特定エリアの旅行スポットを訪れた場合や、特定の観光施設等を利用した回数に応じてポイントを付与する。  <b>【事例】藤沢市×ワズ（スタンプラリーアプリ開発企業）にて今年度実装予定</b> ・市内にスポットを設置し、スタンプラリーの結果に応じてポイントを付与 ・時間帯で差を設ける等、スタンプ付与方法を工夫することで観光地の混雑緩和にも寄与
健康管理アプリ	健康診断の結果が改善した方や、特定の期間に特定の歩数を歩いた方などにポイントの付与を行う。
SDGsアプリ	地域でのリサイクルや環境にやさしい電力の発電・利用等、地域のSDGsに貢献する活動を行った方にポイントを付与する。
子育て支援アプリ	子供の年齢や、検診等の受信状況に応じて、子供の誕生日や入学等のタイミングでポイントを付与する。
2地域間居住支援アプリ	2地域間居住者として、住民票がない自治体に月の何日か居住する方等へ、訪問回数に応じたポイントを付与する。

### 【お問い合わせ先】

キャッシュレス推進協議会 自治体マイナポイント マッチングポータル事務局  
TEL：0570-033-650 / MAIL：lo-2mnp@mnp2mail.paymentsjapan.or.jp

### 【HP】



## 共通ID認証実現方法

共通ID認証を実施するためのSDK（Software Development Kit）をサービス提供事業者を導入いただく必要があります。

### <提供予定機能>

- ・ マイナンバーカード認証（利用者証明用電子証明書）
- ・ 券面情報取得（券面事項入力補助AP）
- ・ 共通ID発行
- ・ 券面情報保存
- ・ 追加情報保存（サービス提供事業者が取得した情報、ポイント情報 等）
- ・ 取得情報の自治体への提供（券面情報、共通ID、マイナンバーカードシリアル、追加情報 等）

利用者向けの操作画面等は、サービス提供事業者に構築いただく必要があります。

## 共通ID認証利用イメージ

SDKの機能に応じて、以下のような画面をサービス提供事業者側に構築いただくことで、共通ID認証が可能になります。



ご興味のある自治体の方、サービス提供事業者の方、以下の宛先までご連絡ください！

### 【お問い合わせ先】

キャッシュレス推進協議会 自治体マイナポイント マッチングポータル事務局  
TEL : 0570-033-650 / MAIL : lo-2mnp@mnp2mail.paymentsjapan.or.jp

### 【HP】

